

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成18年10月1日号 (No.15)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

9月30日(土)に可動堰本体工事の起工式を開催しました。
いよいよ本格的な工事がはじまります。引き続きご協力をお願いします。

堰本体工事起工式を開催

平成18年9月30日(土)、すがすがしい秋晴れの下、大河津可動堰本体工事の起工式が大河津分水路内の建設地点(大河津橋上流の左岸高水敷)において、吉田国土交通大臣政務官、新潟県知事(代理:副知事)、多数の国会議員の方々や新潟市長、長岡市長、燕市長、弥彦村長、田上町長、県・市議会議員、地元自治会の方々、行政・工事関係者など約200名が出席し式典が執り行われました。

北陸地方整備局長の式辞、国土交通大臣政務官の挨拶に続き、新潟県知事、大河津分水改修促進期成同盟会会長(新潟市長)、国会議員の皆様からご祝辞をいただき、その後、信濃川河川事務所長より事業計画説明及び新可動堰色彩発表が行われ、関係者で鍬入れを行い本格工事がスタートしました。色彩の詳細については次回号でお知らせします。



大河津分水改修促進期成同盟会会長



工事の安全を願って関係者で鍬入れ

式典会場の様子



“エイ、エイ、エイ”とかけ声をかけ鍬入れを行う
小林燕市長 森長岡市長 篠田新潟市長



式典最後には『分水太鼓』が披露されました

私たちが担当します

9月に新たな工事を2件発注しました。工事箇所は大河津橋を挟んで上流側が(株)中元組、下流側が(株)水倉組の工事箇所となります。現地で進められている遺跡発掘調査が終了した後、土砂掘削と土質改良・運搬及び護岸工事にとりかかります。土砂の運搬ルートなど詳細が決まりましたら皆さんにご説明、可動堰回覧板などでもご連絡いたします。引き続きご協力をお願いいたします。

10月からの本格的な土砂運搬に先立ち、大河津分水路左岸堤防道路の舗装を補修いたしました。舗装の痛みがひどく、今後も多くの工事用車両の通行が予想される道路であることから、補修作業を実施しました。作業は通行規制を伴いましたが、皆様のご協力により、無事に作業を進めることができました。ありがとうございました。

大河津可動堰下流河道掘削
及び護岸その4工事
(大河津橋より上流側)
株式会社 中元組



現場代理人
山田 修盟
(やまだ のぶあき)



監理技術者
田村 建由
(たむら たけよし)

大河津可動堰下流河道掘削
及び護岸その5工事
(大河津橋より下流側)
株式会社 水倉組



現場代理人・
監理技術者(兼)
尾竹 俊
(おたけ さとし)



補修後の状況
上:大河津橋立体交差部
右:大河津橋乗入部



大河津資料館イベント情報

信濃川大河津資料館では、10月・11月に次のイベントを企画しています。皆様のご参加・ご来場をお待ちしております。詳しい内容などにつきましては資料館へお問い合わせください。
(Tel0256-97-2195 月曜休館)

『信濃川・大河津分水の自然を学ぶ』

大河津分水周辺で観察できる野鳥や魚について、種類や生態などを紹介する企画展と、講座として野鳥の観察会を開催します。
企画展:10月21日(土)~11月26日(日)
講座:11月18日(土)14:00~16:00

『信濃川流域の文化と芸能』

大河津分水周辺の芸能である「神楽」を取り上げた講演会と、実際の踊りを公演していただきます。
講座:11月5日(日)14:00~16:00

信濃川・大河津分水路では9月中旬に鮭の遡上が確認されました。例年、洗堰の魚道観察室からも鮭の遡上する様子を見ることが出来ます。ぜひ、信濃川大河津資料館、大河津分水公園へおこください。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

可動堰情報館

<http://kadouzeki.jp>

信濃川大河津資料館

<http://ohkouzu.jp>